



「空港第2ビル駅の運営体制変更」に関する申し入れを行う！

地本は、空港第2ビル駅を運営する株式会社びゅうトラベルサービス（以下VTS）の今後の方向性として、旅行業商品のオンライン発売や顧客接点型拠点の整備に集中していくため、運営体制を変更するという説明を受けました。

空港第2ビル駅の業務移管は、2014年度申10号「訪日外国人増加に対するグループ体となった柔軟な駅業務体制の構築についての申し入れ」にて労使で議論して実施してきました。当時、空港第2ビル駅の組合員はVTSへ出向し、駅業務を担うプロパー社員への教育や、日本の空の玄関口である空港第2ビル駅の安全・サービスレベルの向上を担ってきました。施策実施から5年が経過しましたが、改めて本施策を労使でトレースして成果や課題を出し合い、次の施策をより良いものにしていかなくてはなりません。

また、新たな運営先となる株式会社JR東日本ステーションサービス（以下JESS）の組合員からは、訪日外国人への対応や、ジャパンレールパスの引換えなどの特殊な出札業務への不安など、多くの意見が出されています。

地本は、施策の目的との整合性や施策を実施した職場の現状を検証し、組合員が「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感できる営業職場とするために下記の通り申し入れを行いました。

【申し入れ内容】

1. 2014年度申10号にて実施してきた空港第2ビル駅のVTSへの業務移管について成果と課題を明らかにすること。
2. 空港第2ビル駅の駅業務の運営を、VTSからJESSへ変更する根拠を明らかにすること。また、本施策では従来の課題を克服した施策とすること。
3. JESSが新たに空港第2ビル駅の運営を受託するにあたり、要員数や運営体制を明らかにすること。また、運営にあたっては年休付与ができるようなゆとりがある業務執行体制とすること。
4. 現在、空港第2ビル駅に出向している社員、VTSのプロパー社員の取り扱いについて明らかにすること。なお、本施策に伴い社員の異動が発生する場合は、目的を丁寧に説明し希望を把握した上で本人希望を尊重すること。また、異動に関して無理な懲罰は行わないこと。
5. 新たに空港第2ビル駅の運営を担う、JESSへの教育内容を明らかにすると共に、本人の不安がなくなるまで十分に行うこと。
6. 本施策を実施する場合、制服の採寸など個人貸与品の準備を丁寧に言い、社員のモチベーションを高めること。また、バックヤードを整備・改善し、社員が働きがいの持てる環境とすること。
7. 施策実施後に検証を行い、問題等が生じた際は労使で協議すること。



施策を担う組合員の不安を解消し、働きがいのある営業職場にするために課題の解決を目指して、今後地本は団体交渉を行います！